

相談支援事業所SUPPORTについて

TANOSHIKA TIMES

CREATING A WORLD WITHOUT DIFFICULTY IN LIVING AND WORKING

Movie



NEXTリーダー 久保田さん
インタビュームービーはこちら。



Interview

所長／主任相談支援専門員
林さん にインタビュー!!



TANOSHIKA SUPPORT 発 の福祉事業イベント!

たのしニバル

を経て

まじわる、ひろがる、

支援の輪



Topic

社長コラム・嘉村が行く!
YOKA活動・卒業生交流会



Vol.15
2026 Winter
TAKE FREE

TANOSHIKA

たのしかサポート

目を見て、
声をきいて、
こころに寄り添う。



SUPPORT

2020年4月に久留米市通町に新規開設した事業所です。「一人ひとりの選択肢を増やす場所」をモットーとして、障がいをお持ちの方やご家族をサポートします。個々の不安をニーズ化し、福祉の視点のみでなく多方面からアドバイスをできるよう心がけます。私たちは障がいをお持ちの方皆様がご本人の可能性を広げ、力をつけられるよう努めて参ります。



私たちこんなこと やっています！



特定相談支援

市町村指定の相談支援事業所です。障がいのある方やご家族のさまざまな相談に応じる「基本相談支援」のほか、福祉サービスの案内や利用計画の作成を行う「サービス利用支援」、利用中のサービスが適切かを見直す「継続サービス利用支援」を実施します。特定相談支援事業所として、必要な支援を総合的にサポートします。

障がい児相談支援

市町村指定の相談支援事業所です。障がい児通所サービスの案内や利用計画の作成を行う「障がい児支援利用援助」と、利用中のサービスが適切かを見直す「継続障害児支援利用援助」を実施し、障がいのあるお子さんとご家族を総合的にサポートします。

計画相談開始までの流れ



1

状況・意向の確認

福祉サービスをご希望の方のお宅に訪問し、生活状況や意向などを伺います。
※訪問は国が定めています。

2

サービスの検討

必要なサービスを検討し、事業所探しのお手伝いをします。※福祉サービスに限らない社会資源の活用も視野に助言を行います。

3

行政への申請

利用するサービスが決まったら行政(居住地の福祉課)に申請します。

4

関係者会議

利用先の関係者等を含めた会議を行い、方針の確認をします。

5

利用開始

行政(居住地の福祉課)の支給決定を受け、サービス利用開始となります。

6

モニタリング

福祉サービスがスムーズに受けられているか訪問等で定期的に確認します。サービスの更新や変更も対応します。
(※利用確認の頻度は利用者様によって異なります)

「サービス等利用計画」の作成や行政への手続き代行なども行います。



TANOSHIKA
SUPPORT

たの

「もっと力強いサポート体制」を
留米市や周辺地域の支援者の皆様に
交流お食事会を開催いたしました。
つながりを築き、障がい福祉の
な交流の場として企画されました。
当日は、予定を大きく上回る
に包まれました。児童、通所、GH
た活発な交流が行われ、笑顔と
企業様による新鮮な野菜のプレゼント
などもあり、終始和やかな雰囲気



初開催は手探りの連続でしたが、約200名もの支援者にご参加いただき驚きと嬉しさでいっぱいでした。当日はインタビューやプレゼントタイムの進行担当で、皆さんとあまりお話できず少し残念でしたが、マイクの声が届かないほど会場は大盛況。「支援者が行き交う交差点を作る」という目標も達成できたと思います！

お楽しみ
プレゼントタイム！

Kurumi Yahata

相談支援専門員

矢羽田 薫美

入職
ありま
す！こ
の想い
種を超
るって
を見て

SHIKA
PORT 8.30 (土)開催!

のしかにーる 支援者が行き交う交差点を



食事会



親睦

を構築したい!」そんな熱い思いを胸に、久
皆様との連携強化と親睦促進を目的とした
た。この会は、関係事業所間の強固な横の
未来を共に考え、創り上げていくための貴重
な。

200名以上にご参加いただき、会場は熱気
/入所、居宅介護、医療の5つの分野を超え
笑い声があふれる時間となりました。特に、
プレゼントや、各事業所によるアピールタイム
気の中で、実りある会となりました。



Shindo Nakashima

相談支援専門員
中嶋 紳道

準備段階から試行錯誤しドキド
キの連続でした。当日は参加者の
多さと熱気に圧倒されながらも、乾
杯のあいさつでは温かく見守って
いただきました。A型の皆さんの支
えを感じながら無事に終えられた
ことが何より嬉しかったです。



Mio Masuda
相談支援専門員
益田 未央

準備は大変で心配も多くありま
したが、当日はその苦勞が吹き飛び
ほど盛り上がり、本当に楽しかった
です。Tシャツやチラシをデザイン
してくださったメンバーの方々、協
力いただいた皆さん、そして参加者
の皆様に心から感謝します!



Satoshi Kubota
相談支援専門員
所長補佐/久保田 悟史

素敵なチラシも作り
参加者は
なんと2倍に!



して間もない時期で緊張も
したが、とても楽しかったで
のイベントを企画したチーム
が素敵だなと思いました。「業
えて支援者同士がつながれ
素晴らしい!」と、会場の笑顔
強く感じました。

大成功と自信を持って言えます。
200名規模で事業所や分野の垣根
を越えて交流の場をつくれたことは
本当に良かったです。次回開催を楽
しみにして下さる声も多く、ぜひ2
回目に向けて計画を進めたいです。
感謝の気持ちでいっぱいです。

Special
Movie



CHECK!

この度私が就任した
「ネクスチューダー」
のインタビュー動画
はこちら!



作る
睦会

管理者
インタビュー

たのしかーニバルを終えて

Interview

支援者が手を 取り合う未来へ

所長 / 主任相談支援専門員

Akiko Hayashi 林 亜希子



Q まずは率直な感想を

こんなに多くの方に来ていただけるんだ！ということにも素直に感動しました。そして、私達はこれほどたくさんの関係事業所の方とご縁があって、仕事をさせてもらっているんだと感じられ、本当に嬉しかったです。また、各事業所で初めましての人も意外に誰かを通じて繋がっていたという再確認の場ができ、意外なほど盛り上がっていました。

Q 準備はどうでしたか？

3月から準備を始め、一番初めにしたのはTANOSHICAのA型事業所へのポスター、Tシャツデザイン依頼でした。A型の皆さんのアイデアをいただき「こんな凄いことをするよ！」って打ち出せて。こんな立派なものを作ってもらったからやんなきゃ！これは大変な船に乗ったぞみたい。100名規模だったのが結果200人ぐらい応募がきて、追加追加で急遽会場の変更など、嬉しい話なんですけど、名簿付け加えたり名札作ったりで、なんだかんだ当日が1番忙しかったかもしれないですね。



Q 会社としてやったことは？

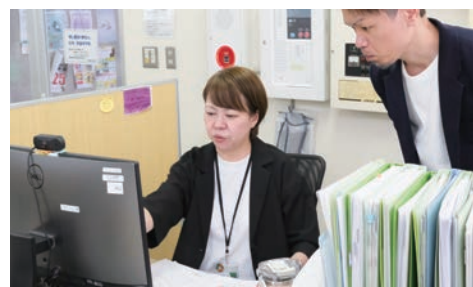
A型の皆さんにスタッフTシャツのコンペをさせていただいたんですね。素敵なTシャツを着て、そのチーム力のアピールはできたのではないかと思います。私達は当初黒子に徹するつもりでしたが、「おもてなし部隊」という意識で、とにかく皆に楽しんでいただけるように、そして初めましての人と、お久しぶりの人を繋げるというか、そこを楽しみながら一緒にやりました。

Q どんな交流が生まれましたか？

私達相談支援事業もそうですが、特に訪問系の方達、訪問看護やヘルパー事業所さんはお一人の利用者さんに対して一人と、同じ現場でお会いすることがなかなかありません。今回はその横の繋がりができました。それと、参加していただいた事業所さんの「アピールタイム」にもなって、久留米市が出してる事業所一覧を見て探すというより、「あの人がここにいるんだ」という確認の場になっていたと思います。

Q 現在、相談支援機関の弱点は？

支援員・相談員の数が少なく、一人で悩みを抱え潰れてしまう、パニックになってしまうかもしれないということです。TANOSHICA SUPPORTは現在7名体制ですが、一人で運営されている事業所もあります。相談支援専門員がもっともっと増えなければ利用者の支えにはなりません。今回たのしかーニバルを通じて、TANOSHICA SUPPORTってこんなにチーム力あるんだ、ここでならやっていけるかなってスタッフ募集の意味も入っていたと思います。



Q 弱点を克服するためには？

やはりチームワークが大切だと思いますので、連携とチーム体制の強化を目標にしています。TANOSHICA SUPPORTのスタッフだけでなく、機関支援センターの皆さまや制作推進部会の先輩方の知恵をいただき、インフォーマルな方々とも繋がりがながら、ネットワーク体制を築いていくことが今後求められるかと思います。今回は福祉サービス以外の方にもご参加いただいたので、次回はもっともっとインフォーマルな方へ広げていけたらと思います。

Q 最後に、これをご覧の 福祉関係者の方に向けて

改めまして、たのしかーニバルにたくさんの方にご参加いただきありがとうございました！私達が仕事の舞台とするこの久留米市、そしてその近郊の町の社会の課題に向き合っていくのは、TANOSHICAだけの力では微々たるものだと思ってますので、ぜひ手と手を取り合ってこれからの障がい福祉の課題を一緒に解決しましょう！そして、また新たな取り組み色んなアイデアを出して、「久留米、最高だね！」って言われるような社会を作っていきたいと思いますので、どうぞお力を貸してください。

インタビュー
全文はこちらから



CHECK!



Chie Okabe

相談支援専門員

岡部 智栄

この企画の話を知ったときはドキドキワクワク胸が高鳴りました。当日は会場いっぱいの招待者の皆様を見て改めてすごいイベントなんだと実感し、深く感動しました。TANOSHICAから久留米、筑後、福岡、九州、そして日本へBIGWAVEを広げていきたいです！



Emi Tsukiashi

相談支援事務員

月足 恵美



スタッフTシャツは
皆さんのアイデアが
集まったのでシールにも
しました！



嘉村がゆく！ no. 07

皆様、こんにちは！

日頃からお世話になっております支援機関の方々には、心より感謝申し上げます。

今回は二〇二五年八月三十日（土）に開催したTANOSHIKASUPPORT主催の「たのしかーニバル」についてお話しさせていただきます。

きっかけは 博多での交流会

きっかけは、博多で相談支援事業を展開されている事業所の方から、久々に交流会を開催するというお誘いをいただき、SUPPORTの所長である林と二人で参加したことでした。

その時の交流会が衝撃的で、講演会や研修があるわけでもないのに、二百名以上の地域の社会資源の方々が集まっており、すごく活気があって楽しかったと、交流されていたんですね。その様子を見て、ぜひ久留米でも開催したいと思い、林さんに「久留米でも開催しましょうー」とオファーしたのがきっかけでした。



開催までも、SUPPORTチームにはたくさんの方の苦勞があったと聞いています。当初は百名規模を想定していましたが、結果として二百名以上の方のお越しが見えてきたため、会場も急遽大きい場所に変更しました。当日は私たちSYNCHOとSUPPORTチームが主役ではなく、地域の方々の交流が一番大切なので、いかに黒子に徹するかも話し合ってきました。

こうして、無事に大きなトラブルもなく開催することができました。



手を取り合い 地域と共に歩む

カーニバルを通じて地域の方々の交流が盛んになり、それが巡り巡って利用者の方の支援の質の向上に繋がることが願っています。TANOSHIKAがいつも

言っている「連携」を皆で体現できたことが本当に嬉しかったです。

同じ形であるか、あるいは形を変えるかもしれませんが、私たちが仕事の舞台とするこの久留米市そして近郊の地域をより良くしていくためには、TANOSHIKAだけでなく、皆で手を取り合い、連携して繋がっていくことが何よりも大切です。

これからも、私たちは「連携」を胸に、地域の方々と共に歩みを進めてまいります。引き続きよろしく願いいたします！



代表取締役
嘉村 裕太

1990年2月11日生（35歳）
水瓶座
趣味：筋トレ・漫画
4人のパパとして子育てより筋トレを頑張っています。ごめんなさい。



YOKA 活動 no.03

就職活動の役立つ情報やスポーツでの交流会など、楽しいイベント盛りだくさん！

「余暇」活動の「良か」とこを、紹介するけんね！



笑顔が広がるひと時 ☆



TANOSHIKAの卒業生が集う 交流会を開催

TANOSHIKAから、一般就労された方を対象とした交流会を九月に開催しました。当日は各事業所の支援員も参加し、久しぶりの再会に笑顔があふれ、和やかな雰囲気の中で交流が行われました。お題付きのトークカードを使って就職されたからの話や、TANOSHIKAでの思い出を語り合い、共感の声や笑顔が溢れました。その後はお弁当を囲んで自由に過ごし、記念撮影を実施。互いを励まし合い、前向きな気持ちを共有できる、あたたかいひとときとなりました。

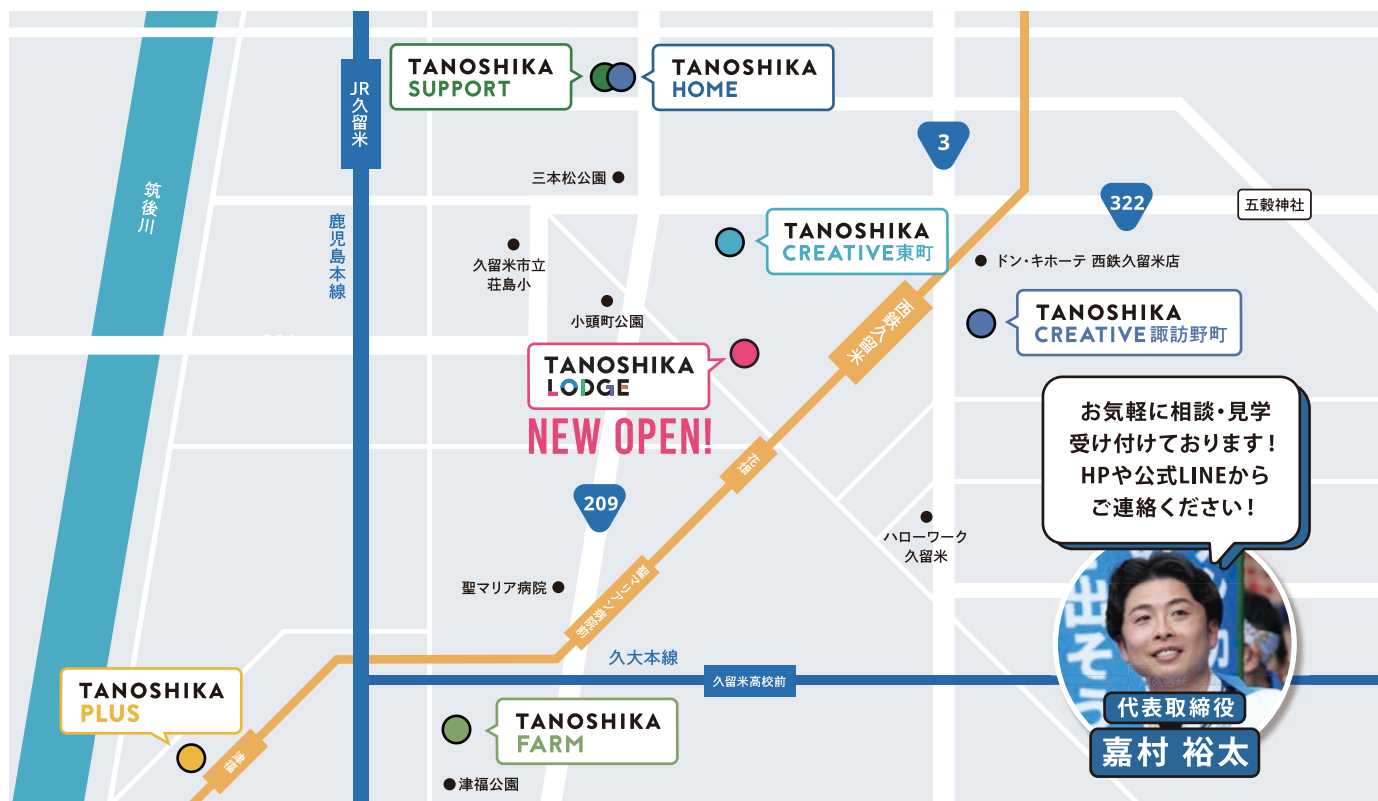


お互いの“今”を語り合う！

AKARI掲載記事

卒業生のインタビュー
はこちらから見れます！





就労継続支援A型事業所

TANOSHIKA FARM

(たのしか・ふぁーむ)

〒830-0047

福岡県久留米市津福本町
845-5

☎ 0942-38-2655

☎ 0942-80-0180 (FAX)

就労継続支援A型事業所

TANOSHIKA CREATIVE 諏訪野町

(たのしか・くりえいていぶ・すわのまち)

〒830-0037

福岡県久留米市諏訪野町1-22
ワカナセントラルプレイス 5F

☎ 0942-80-6216

☎ 0942-80-6217 (FAX)

就労継続支援A型事業所

TANOSHIKA PLUS

(たのしか・ぶらす)

〒830-0047

福岡県久留米市津福本町
1587-11

☎ 0942-27-5823

☎ 0942-27-5824 (FAX)

就労継続支援A型事業所

TANOSHIKA CREATIVE 東町

(たのしか・くりえいていぶ・ひがしまち)

〒830-0032

福岡県久留米市東町25-3
プラザビル2F

☎ 0942-65-6842

☎ 0942-65-6843 (FAX)

相談支援事業

TANOSHIKA SUPPORT

(たのしか・さぽーと)

〒830-0018

福岡県久留米市通町 5-18
イデックビル 2F

☎ 0942-27-6063

☎ 0942-27-6167 (FAX)

本部業務

TANOSHIKA HOME

(たのしか・ほーむ)

〒830-0018

福岡県久留米市通町 5-18
イデックビル 2F

☎ 0942-27-6163

☎ 0942-27-6167 (FAX)



ショートステイ事業

TANOSHIKA LODGE

(たのしか・ろっじ)

〒830-0038

福岡県久留米市西町1196-17 2F・3F

☎ 080-6113-9489

● ショートステイ事業ははじめました!
次号の広報誌で特集予定!お楽しみに!

C
H
E
C
K

公式サイトやSNSで最新の情報を発信しています!ぜひチェックしてみてください!



WEB



LINE



X (旧Twitter)



Facebook



Instagram

本広報誌(TANOSHIKA TIMES)は
TANOSHIKA CREATIVE利用者が
デザインを担当しております。



TANOSHIKA
CREATIVE
デザイナー
Yさん・Nさん